

入院のご案内

—患者さんにご家族の皆様へ—



人と、地域と、“つながる医療”



NTT東日本 関東病院

1 1 階特別個室サービスについて

2025 年 3 月 1 日よりコンシェルジュ対応から以下の通り特別個室サービスへ変更となります。

ご利用の際は病棟職員へお声がけください。

サービス

- ・ お部屋の備品や設備の使用方法的説明
- ・ 面会者様の案内
- ・ アメニティの追加要望
- ・ 新聞手配および配達
- ・ 部屋会計の手配（平日のみ）
- ・ 付添ベッドの依頼代行
- ・ 理容室予約代行（医師の承認書が必要）

2025 年 2 月
NTT 東日本関東病院

目 次

P. 2	NTT 東日本関東病院の理念と基本方針
P. 3	当院の機能と役割
P. 4	患者さんご家族の皆様へ
P. 6	入院の準備について
P. 9	入院にあたっての注意事項 お薬について
P.10	入院中の生活
P.12	退院の手続きについて
P.14	設備やサービスについて
P.16	お部屋の案内
P.18	コンシェルジュの紹介
P.19	患者サポートセンター受付横「各種相談窓口」の案内
P.20	診断書・証明書について
P.21	災害・緊急時の対応について
P.22	感染対策について
P.23	医療安全について
P.26	ベッドの使用方法
P.27	じょくそう 褥瘡予防対策について
P.28	疼痛（痛み）について
P.29	深部静脈血栓症・肺血栓塞栓症を防ぐために
P.30	個人情報保護方針
P.32	施設案内

NTT 東日本関東病院の理念と基本方針

関東病院の理念

私たちは NTT 東日本の社会的貢献の象徴として、医療の提供を通して病院を利用される全ての人々、そして病院で働く全ての人々の幸せに尽くします。

関東病院の基本方針

- 1 患者さんの権利と人格の尊重
- 2 世界的視野に立った最高の医療の提供
- 3 チーム医療の推進
- 4 適切なリスク管理と安全な医療の提供
- 5 地域医療の発展と連携の推進
- 6 IT の医療への活用と社会への還元

患者の権利と責任

1 良質で安全な治療を受ける権利

患者さんは、個人の背景の違いや病気の性質にかかわらず、良質で安全な治療を受ける権利を有します。

2 十分な説明と情報を得る権利

患者さんは、自己の治療に関して、自らが理解できることばで、診断、治療、および予測される経過に関し、すべての情報を得る権利を有するとともに自己の診療記録の開示を求める権利を有します。

また、他院を含め他の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利を有します。

3 自らの意志で選択する権利

患者さんは、治療を選択する権利、あるいは拒否する権利を有します。

4 プライバシーが守られる権利

患者さんは、自己の医療に関する記録や個人情報やプライバシーについて保護される権利を有します。

5 自らの健康・疾病情報を正確に提供する責任

患者さんは、良質で安全な治療を受けるために、自身の健康・疾病に関わる全ての情報を医療者に正確に提供する責任を有します。

6 自らの健康状態・疾病の理解に努める責任

患者さんは、良質で安全な治療を受けるために、自ら治療に参加する意識を持つ責任を有します。

患者さんは、医療者の指示・説明について気兼ねなく質問し、十分理解した上で、自身の治療に協力する責任を有します。

7 病院環境や他の患者さんへ配慮する責任

患者さんやその関係者は、自らの理不尽な言動で、他の患者さんの受診や病院職員の業務に支障を与えない責任を有します。

8 医療費を支払う責任

当院で受けた医療に対する費用について、患者さんは、外来受診当日または退院日、若しくは当院が指定する期日までに必ず支払う責任を有します。

※ 当院では、患者さん・ご家族の方々からの金品等のお気遣いは、一切ご遠慮させていただきますので、ご理解願います。

NTT 東日本関東病院 院長

当院の機能と役割

1 当院は急性期医療の病院です

当院は、急性期病院の認定を得て、緊急・重症の患者さんを「一人でも多く、一日でも早く」受け入れるようにしています。また、地域の医療機関などからの紹介で、高度な急性期の入院治療が必要な方を積極的に受け入れています。

2 病状安定後は退院、長期療養を必要とする患者さんには、転院をお願いしています

急性期治療を必要としている方に適切な対応をするために、急性期治療が終わった患者さんには、退院していただき、紹介元（かかりつけ医など）へ通院となります。

長期療養が必要な患者さんは、適切な時期に地域の医療機関に転院をしていただきます。

3 地域の医療機関と連携を図っています

当院は、地域の医療機関、かかりつけ医師と密接な医療連携を結び、切れ目のない医療の提供を実践しています。退院や転院については、医師、看護師、または患者サポートセンターにご相談ください。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

患者さんご家族の皆様へ

患者さん・ご家族の方との信頼関係を構築し、最良の医療を提供するために、ルール事項をご理解ください。

1 患者さんへの説明・同意

当院では、書面で正式な説明同意をいただく診療項目と、口頭で説明、同意確認をさせていただく診療項目に分けて、対応させていただいております。医師が立ち会う必要がないものが多く、患者さんへの心身のご負担も少ない診療項目については、入院時にお渡しする「NTT 東日本関東病院における包括同意に含まれる項目」の資料をご覧ください。診療を円滑に進めるために、これらの診療項目については、口頭での説明、同意確認で対応させていただいております。疑問がおりの場合は、医師、看護師までお申し出ください。

2 治療やケアへの参加

治療やケアに関する話し合いには、是非ともご参加ください。当院では患者さんやご家族の希望、意見を伺いながら、治療やケアの計画を進めております。

患者さんには、セカンドオピニオンを受ける権利があります。

3 患者さん自身による、医療行為の確認

点滴・注射・検査容器・薬袋などには、患者さんの氏名が記載されております。事前に十分確認しておりますが、不明な点や誤りを発見された場合は、直ちに病院職員へお知らせください。

患者さんと病院職員が連携し、安全な入院生活をお送りいただけるよう努めます。

4 患者さんの状態に不安を感じた場合

患者さんの状態に不安を感じた場合は、ご本人またはご家族等のいずれからでも、遠慮なく、病院職員にお伝えください。患者さんの状態を確認し、適切な対応を行います。

5 患者さんのプライバシー

入院される方が治療に専念できるよう、病室は居住性と「プライバシー」を確保しております。

「プライバシー保護」の観点から以下のように実施しております。

(1) 入院中の患者さんについてのお問い合わせ対応

・電話によるお問い合わせの場合

入院中の事実を知っている、知らないに関わらず、お答えしていません。

・来院された場合

入院されている事実を知らない場合は、お答えしていません。

入院されている事実を知っており、面会をご希望される場合には、当院のホームページをご確認ください。

(2) 面会についての対応

入院中の面会制限を希望される方は、病棟の看護長までお申し出ください。

6 迷惑行為について

当院では、次のような迷惑行為があった場合、診療をお断りする場合があります。

患者さんの安全を守り、診療を円滑に行うとともに、最善の医療を提供するためにも、ご理解のほどお願いいたします。

- (1) 他の患者さんや病院職員に対しハラスメントや暴力行為があった場合、もしくはそのおそれが強い場合
- (2) 大声、暴言または脅迫的な言動により、他の患者さんに迷惑を及ぼす、あるいは病院職員の業務を妨げた場合
- (3) 解決しがたい要求を繰り返し行い、病院業務を妨げた場合
- (4) 建物設備等を故意に破損させた場合
- (5) 受診に必要でない危険な物品を院内に持ち込んだ場合

7 病院敷地内での制限事項について

- (1) 全面禁煙となります。
- (2) カメラ、スマートフォン、ビデオ等による写真撮影・録画・録音等は他の方のプライバシーを侵害するおそれがありますので、禁止となります。

8 入院時の持ち込み器材の管理

入院時に、補聴器や温熱器などの医療機器あるいは人体に影響を与える器材の持ち込みを希望される場合には、主治医が持ち込みを許可するか決定させていただきます。当院が、器材の安全な使用について責任を持てない場合は、持ち込みを許可しない場合がありますので、あらかじめご承知おきください。

9 飲食物の持ち込み、飲食について

当院では、治療への影響防止の観点から、食品の持込は原則禁止とさせていただきます。

飲食物を持ち込む場合は、衛生的に管理するため、下記のようにお願いしております。

- (1) ご家庭などで作られ、賞味期限が定められていない飲食物
衛生的な管理が難しいため、原則持ち込みを禁止とさせていただきます。
特別な事情がある場合には、医療スタッフにご相談ください。
- (2) 賞味期限が定められている飲食物
コンビニの商品など賞味期限が定められている飲食物は、賞味期限までに飲食してください。
- (3) 飲食物の保管場所、開封日の記入
飲食物を冷蔵庫で保管する場合は、自身の病床の冷蔵庫をご使用ください。冷蔵庫で保管する飲食物を開封したら開封日を記載してください。衛生的な管理のため、開封したらその日のうちに飲食をすませてください。日をまたいだ飲食物は、廃棄させていただきます。

ご理解のうえ、ご協力をお願いいたします。

入院の準備について

1. 入院について

入院予定日の変更・キャンセルを希望される場合は、以下へお電話ください。
入院予約された診療科にて対応いたします。

受付時間

平 日 : 8:30 ~ 17:00
お問い合わせ先 : 03-3448-6111 (代表)

2. 入院当日の持ち物について

(すべての方)

- ☐ 診察券
- ☐ マイナンバーカード（または健康保険証）
- ☐ 入院申込書（誓約書）兼 連帯保証申請書
- ☐ 入院のご案内（本冊子）
- ☐ 下着などの衣類
- ☐ 筆記用具

(該当者のみ)

- ☐ 各種公費助成証（医療受給者証、公費医療券、高齢受給者証など）
- ☐ 限度額適用認定証（マイナンバーカードをお持ちの方は不要）
- ☐ 退院証明書（3ヶ月以内に他病院に入院されていた場合）
- ☐ お薬手帳
- ☐ お薬（現在使用中のお薬を入院期間分お持ちください）
- ☐ 義歯（入れ歯）、義歯洗浄剤、補聴器、眼鏡など、各種収納ケース（記名したもの）
- ☐ イヤホン：有線のイヤホンのみ対応（4床部屋でテレビ・ラジオ等をご利用される方）
- ☐ 生活用品等

お部屋のタイプごとに、ご用意しているものがあります。

	特別個室	有料個室	4床部屋
☐ パジャマ・寝巻き（裾を引きずらない長さ）	○	○	×
☐ タオル・バスタオル	○	○	×
☐ 洗面・入浴用品 （歯ブラシ、コップ、シャンプー、ボディソープなど）	○	×	×
☐ ティッシュペーパー	○	×	×
☐ 湯のみ	○	×	×
☐ 着脱が容易で滑りにくく踵が覆われた履物 （転倒防止のためスリッパやサンダルは禁止）	○	×	×
☐ 紙オムツ（ご利用枚数の制限はありません）	○	○	×

※ 電化製品の持ち込みはお断りしております。（P85. 入院時の持ち込みについて）
ドライヤーについては病棟にて無料でお貸しします。

3. 入院セットのレンタルサービスについて

入院中、有料のレンタルサービス（パジャマ・バスタオル・フェイスタオル・オムツ）を行っております。有料個室に入室の場合は、全て無料でご利用いただけます。入退院受付で申し込みを受け付けており、入院後の申し込みも可能です。

- ・パジャマ・タオルセット：日額 495 円（税込）
交換目安は、原則、週 3 回（月・水・金曜日）病室へお届けいたします。
汚れた場合は必要に応じて、交換させていただきます。
パジャマにポケットはございません。
- ・紙オムツセット：日額 605 円（税込）
利用枚数の制限はございません。

4. その他

- ・ドライヤーは各病棟にて、無料でお貸ししております。
- ・新生児の肌着、オムツは当院でご用意しております。
- ・ATM は、2 階コンビニエンスストア内に設置しております。

5. 持ち込みを禁止しているものについて

持ち込めない物	・多額の金銭 ・腕時計やアクセサリーなどの装身具を含む貴重品 ・ハサミ、カッターなど刃物 ・アルコール類（ノンアルコール飲料を含む） ・タバコ（電子タバコや電子タバコに類似する製品を含む）、ライター ・生花、鉢植えなどの植物 ・動物 ・電気ストーブ、電気ポット、加湿器、扇風機、冷蔵庫、電気毛布、テレビ等の電化製品 ・寝具（追加で必要な場合は 可能な範囲で病棟にて用意します）
医師の許可がなければ持ち込めない物	・温熱器などの医療機器、あるいは人体に影響を与える器材 * 当院が、器材の安全な使用について責任を持ってない場合は、持ち込みをお断りする場合があります。
除去していただきたいもの	・つけ爪 ・マニキュア（ジェルネイル、マグネットネイル等含む） ・鍼灸の置き針

6. 持参品の管理について

- ・入院時の持参品は、必要最小限でお願いいたします。
なお持参品については、原則お預かりしていませんので、ご自身で管理をお願いいたします。
- ・盗難、紛失、破損につきましても、当院では一切責任を負いかねます。
- ・現金やクレジットカードなどの貴重品は、セーフティボックスに入れて鍵をかけ、鍵は常に身に着けご自身で管理してください。

7. 入院中の健康保険被保険者証変更について

入院中に健康保険被保険者証の記載内容の変更や公的医療制度の利用等があった場合は、すみやかに病院職員にお申し出ください。

また、マイナンバーカードをお持ちの方も、すみやかに病院職員へお申し出ください。

入院にあたっての注意事項

治療の計画や内容は、担当の医師、看護師から詳しく説明いたします。不明な点は遠慮なく、お尋ねください。以下に当たる方は、看護師までお申し出ください。

- ・痛みがある
- ・妊娠している
- ・薬をたくさん飲んでしまう傾向がある
- ・お酒をたくさん飲んでしまう傾向がある
- ・身体的な不自由がある
- ・視覚、聴覚など感覚に障害がある
- ・認知症がある
- ・日本語がよく分からない
- ・治療についての説明が難しすぎる
- ・治療についての説明は聞きたくない
- ・治療を受けたくない
- ・自分なりの強い信条、価値観、宗教がある
- ・気分が不安定である
- ・精神科、心療内科の病気にかかったことがある
- ・心理的な問題がある
- ・いじめにあったことがある、あっている
- ・家族にきちんと面倒をみてもらえない
- ・社会で暮らしていくのに問題がある
- ・経済的な問題がある

お薬について

- 1** 入院する前に使用されていたお薬や、他の医療機関のお薬に関する情報はとても重要です。お薬手帳など、お薬の内容がわかるものを必ずお持ちください。
- 2** 入院中は薬剤師が、安心して患者さんにお薬を服用していただけるよう、お薬の説明を行うために、ベッドサイドへ伺います。お薬について不安なことや、知りたい事がありましたら薬剤師にご相談ください。



入院中の生活

① 起床と消灯

起床 6:00

消灯 22:00

* 4C 病棟、各病棟の廊下・デイルーム等の消灯は21:00 となります。

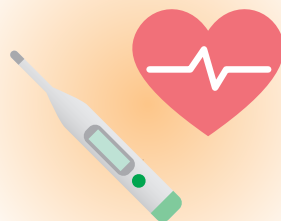


② 体温と脈拍の測定

測定時間は病棟により、回数・時間に変動がございます。

入院の際、症状に応じてご説明いたします。

* 測定時に日（24 時間）の便と尿の回数をお聞きします。



③ ナースコール

担当看護師に繋がりますので、緊急時や連絡用にご使用ください。

「ベッド」「トイレ」「シャワー室」にボタン型ナースコールが設置されております。



④ 入浴

・入浴、シャワーは医師の許可が必要となります。

利用を希望される方は、看護師にご相談ください。原則使用時間(6:00～21:00)となっております。病棟により使用時間が異なる場合がありますので、入院後ご確認ください。

・入浴・シャワーの許可がない場合は、必要に応じて身体を拭くなどのケアを行います。



⑤ 食事

配膳時間（30 分前後ずれる場合がございます）

朝食 7：30 頃 ～

昼食 12：00 頃 ～

夕食 18：00 頃 ～



● 食事は、患者さんの病状に応じて、医師の指示により栄養部がご用意いたします。

- ・治療食など食事に制限がある場合は、ご家族などによる食品の持ち込みは原則禁止とさせていただきます。
- ・食物アレルギー、宗教上の制限がある場合は、お申し出ください。
- ・食品衛生上、配膳後はできるだけ1時間以内にお召し上がりください。
- ・どうしても召し上がれない食品がございましたら、受け待ち看護師にご相談ください。ご希望をすべてお受けすることはできませんが、可能な範囲で対応させていただきます。

入院中は管理栄養士をはじめとして、医師や看護師、薬剤師など医療スタッフが協働して患者さんの栄養状況を把握し、サポートを行います

● 選択メニューと料金について

食事制限のない患者さんを対象に、選択メニューを実施しております。

対象となる患者さんには、申込用紙を提供前日の朝食時に配布いたしますので、希望のメニューに○を付け、昼食の下膳時までにはトレイの上に置いてご提出ください。昼食の下膳を過ぎてからの選択はできかねますので、ご了承ください。

* 治療上、食止めとなる場合や治療食への変更により、選択できない場合があります。また、選択したメニューが、禁止食品やアレルギーに該当する場合は、選択を無効とさせていただきます。

* 選択メニューは複数あり、1食あたりの通常料金とは別に追加で220円（税込）をご負担いただく特別なメニューもございます。

⑥ 外出・外泊について

- ・外出・外泊は、治療の一環として医師の許可が必要です。担当医の許可なく病院敷地外に出ることはできません。敷地外に出る際には外出届けが必要です。病棟を出る際には必ず看護師に声をおかけください。

「外出・外泊許可申請書」に必要事項を記入し、看護師にご提出ください。

- ・外出・外泊時には、病院の連絡先を記入した「外出・外泊許可証」をお渡しいたします。
- ・戻られた際は、必ず看護師にお声掛けください。

退院の手続きについて

1. 退院日について

- ・退院日は医師が決定いたします。原則 10:00 ～ 11:00 の退院をお願いしております。
- ・退院当日は、病棟を出る前に看護師にお声掛けください。
- ・「診察券」は忘れずにお持ち帰りください。外来受診や病院への連絡に必要となります。また、持参薬や退院時処方されるお薬も担当看護師とご確認のうえ、忘れずにお持ち帰りください。
- ・床頭台のセーフティボックス、ロッカー内に忘れ物がないよう確認し、鍵は差し込んだままにしてください。
- ・病院の備品（体温計・テレビのリモコン・ハンガー等）、レンタル用品（パジャマ・タオル・オムツ）は持ち帰りにならないようお願いいたします。
- ・忘れ物については当院では責任を負いかねます。

2. 入院費のお支払いについて

- (1) 1 階自動精算機 または 1 階 4 番料金窓口で、お支払いいただけます。

以下の時間でお支払いが可能です。

受付時間

1 階 自動精算機 : 毎日 24 時間稼働
 1 階 4 番料金窓口 : 平日 8:30 ～ 17:00
 お問い合わせ先 : 03-3448-6111 (代表)

※ 土曜日・日曜日・祝日に退院される方は、後日払いとさせていただく場合がございます。その際は、次回外来受診の時に、外来費と併せてお支払いください。

- (2) お支払いは現金またはクレジットカード、デビットカード、もしくは QR コード決済をご利用いただけます。なお、一括払いのみとなります。



- (3) 次回の受診日は、支払い時にお渡しする予約票でご確認いただけます。
 領収書の再発行はいたしません。各種申請時に必要となる場合がありますので、大切に保管してください。
 領収書の紛失等で入院費用証明が必要な場合には、領収済証明書を発行いたします。
 発行料は別途ご負担いただきます。
- (4) ATM は、2 階コンビニエンスストア内にございます。

3. 入院費の計算について

当院は、厚生労働省の指定により DPC（包括支払い）対象病院となっており、入院費の計算は以下ようになります。ただし、入院している間の病名や診療内容等により計算方式が変わる場合があります。その場合、入院の初日にさかのぼって入院費の再計算を行うことになり、すでに支払っている入院費が追加または返金となることがありますのでご了承ください。また、施設基準等に基づき、入院費を算出しております。施設基準等の詳細は、病院ホームページをご確認ください。

DPC（包括支払い）とは、病名や診療内容などにより 1 日あたりの包括部分の入院費が決まり、包括部分の金額に出来高部分の金額を合算する計算方法です。ただし、病名や診療内容などによっては、すべて出来高計算方式となる場合があります。

DPC（包括支払い）計算方式

包括部分

1 日あたりの定額 × 入院日数

入院基本料
投薬・注射
画像診断
検査
処置 等



出来高部分

医学管理

検査・処置の一部

手術・麻酔・輸血

放射線治療

リハビリテーション

食事代

1 日あたりの包括金額が
設定されています。

設備やサービスについて

① 病棟の出入口について

- ・患者家族用の病棟出入口は、専用のエレベーターホールにあります。
- ・病棟出入口は、施錠されております。「インターフォン」でお知らせください。

② 病室内のロッカー、セーフティボックスの使用について

- ・ロッカーの鍵は、必ず施錠してご使用ください。
- ・現金・貴重品の管理は、備え付けのセーフティボックスを必ず使用し、鍵はご自身で管理してください。
- ・紛失・盗難に関して、当院では責任を負いかねますのでご了承ください。

③ テレビ

- ・床頭台には、テレビカードでご覧になれるテレビが設置されております。
- ・テレビカードは、病棟食堂とコンビニエンスストアで販売しております。
- ・両替機とテレビカード精算機は、1階警備員室前と総合案内横に設置しております。
- ・4床部屋でのテレビ使用時は、他の患者さんの迷惑とならないように、イヤホンをご使用ください。
- ・4床部屋での、起床時間前と消灯時間後の使用はご遠慮ください。



- * 1枚 1,000円（税込） 8時間 20分視聴可能
- * 販売機は 1,000円札のみ使用可能
- * 各病棟の洗濯機のお支払いにも使用可能

④ 冷蔵庫

- ・すべてのお部屋で、無料でご使用いただけます。

⑤ Wi-Fi について

- ・全ての外来、病棟のエリアにて、無料のWi-Fiによるインターネット接続サービスをご利用いただけます。
- ・ネットワーク名、パスワード等は、病棟掲示物をご覧ください。

⑥ 携帯電話の使用について

- ・入院後、必ずマナーモードに設定のうえ、全病棟内での通話をご遠慮ください。
※個室・デイルーム・病棟食堂での通話をご使用いただけます。
- ・手術室、特定集中治療室（ICU、CCU、SCU）、ハイケアユニット（HCU）への、携帯電話・スマートフォンの持ち込みは出来ません。
- ・充電器の貸し出しは行っておりませんので、各自ご用意ください。
- ・携帯電話・スマートフォンは、マナーを守ってご使用ください。

⑦ 洗濯機

- ・シーツ、枕カバーなど病院の寝具は、原則週1回の交換となります。
- ・パジャマや下着の洗濯は、病棟内のコインランドリーをご使用ください。
テレビカードでのお支払いでご利用いただくことも可能です。（※洗剤は各自ご用意ください）
- ・有料の洗濯サービスもございますので、病院職員へ相談ください。

⑧ ごみ処理について

- ・ごみの分別処理にご協力をお願いいたします。分別ごみ箱はデイルームと病棟食堂に設置してあります。

⑨ 病棟食堂・デイルームの使用について

- ・デイルームは飲食禁止です。飲食は病棟食堂でお願いします。
- ・病棟食堂では、電子レンジ・トースターをご使用いただけます。

⑩ お見舞い・面会について

- ・最新情報は当院のホームページをご確認ください。
- ・発熱、せき、発疹のある方、未就学児の面会は、制限させていただいております。
- ・面会を希望されない場合は、看護師長にご相談ください。

お部屋の案内

当院では、特別個室・一般個室・4床部屋のお部屋をご用意しております。その特徴や付帯する設備・費用の違いをご確認ください。有料病床は入室された時間に関わらず、一日（0：00～24：00）あたりの料金となります。

○は無料でご利用いただけます。

	病室区分	税込室料 (一日あたり)	テレビ	パジャマ タオル オムツ レンタル	コンシェルジュ	アメニティ
特別個室	S1	132,000 円	○	○	○	○
	S2	110,000 円	○	○	○	○
	S3	88,000 円	○	○	○	○
	S5	63,800 円	○	○	○	○
	S6	52,800 円	○	○	○	○
	S7	41,800 円	○	○	○	○
一般個室	A2	27,500 円	○	○	×	×
2床部屋	B1	14,850 円	○	○	×	×
	B2	11,000 円	○	○	×	×
4床部屋	—	—	有料	有料	×	×

産科 病棟	個室	A1	55,000 円	○	○	×	○
		A2	27,500 円	○	○	×	○
	2床部屋	B2	11,000 円	○	○	×	×
精神科病棟		A3	22,000 円	○	○	×	×
		C1	5,500 円	○	○	×	×
緩和ケア 病棟		A2	27,500 円	○	○	×	×
		A3	22,000 円	○	○	×	×

※ Wi-Fi、冷蔵庫はすべてのお部屋で、無料でご使用いただけます。

※アメニティはシャンプー、コンディショナー、ボディソープ、歯ブラシ、コップ、ヘアブラシ、履物などをご用意しております。

※個室を希望される方は、事前に入退院受付へお伝えください。希望に添えない場合もございますのでご了承ください。

※妊娠中および出産後の室料は非課税となります。

一般個室 A2 室

27,500 円 / 日（税込）

面積 17.0㎡

都会的でありながらやさしさの漂う、居住性と機能性に配慮したプライベートな環境を提供いたします。

バリアフリー設計とシャワー・トイレを標準仕様とし、ゆとりのあるお部屋です。



① 個室のメリット

- ・ パジャマ、タオル、紙オムツが無料でご利用いただけます
- ・ テレビが無料でご覧いただけます
- ・ 専用のシャワー、トイレが付いております
- ・ 静かな環境で療養生活をお送りいただけます

② 病室設備等

シャワー、トイレ（ウォシュレット付）、洗面化粧台、冷蔵庫、ロッカー、テレビ、発信専用電話機（有料）など

4 床部屋

24 時間の共同生活を送ることになります。病気や治療の違いにより、食事や排泄の状況が患者さんごとに異なります。生活音（いびき、せき）や臭いなど、周りの人が気になって眠れない方は、個室のご利用をお勧めいたします。

また、入院中に同じ病棟内の別の 4 床室や、別の病棟へ移動していただくこともございます。窓側などベッドの場所の希望は原則受け付けておりませんのでご了承ください。



① 病室設備等

共用シャワー、共用トイレ（ウォシュレット付）、共用洗面化粧台、冷蔵庫、ロッカー、テレビ（有料）など

コンシェルジュの紹介

特別個室では、専属のコンシェルジュが入院生活におけるお手伝いをいたします。看護・医療以外でも、入院生活でのお困りごとやご要望がございましたら、コンシェルジュにお声掛けください。

特別個室の見学も受け付けております。見学を希望される方は、入退院受付の職員へお声掛けください。

主なサービス内容

- 
- お部屋の備品や設備の使用方法的説明
 - 入退院時の荷物運搬のお手伝い
 - 面会者様の案内
 - 宅配便、郵便物発送のお手伝い
 - アメニティ追加要望
 - 新聞手配および配達
 - 部屋会計の手配（平日のみ）
 - タクシーの手配
 - 付添ベッドの依頼代行
 - 院内コンビニエンスストアの介護用品デリバリー注文代行（買い物代行はお受けいたしかねます）
 - 理容室予約代行（医師の承認書が必要）
 - 私物洗濯の申し込み代行（洗濯可能のみ対応可）

「各種相談窓口」の案内

患者さんご家族が安心して治療・療養に専念できるように、総合相談室、がん相談支援センターで様々な相談を専門のソーシャルワーカーと看護師が対応いたします。（無料）

ご希望の方は、総合案内、又は下記お問い合わせ先に直接電話でご予約いただくか、1階患者サポートセンター横の専用の電話にてお問い合わせください。入院中の場合は担当医師、看護師へお申し出ください。

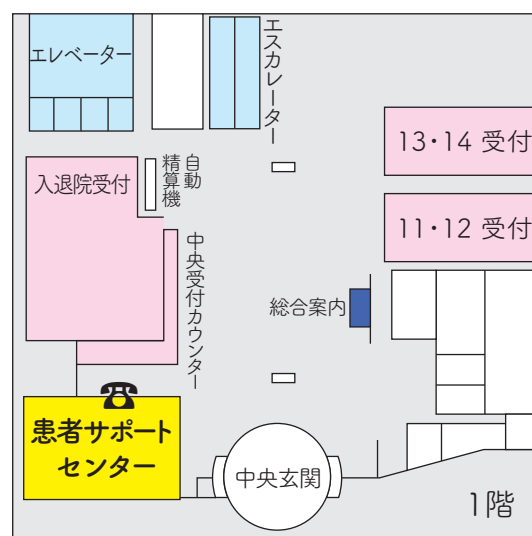
受付時間

平日 : 9:00 ~ 17:00

お問い合わせ先 :

総合相談室 03-3448-6213

がん相談支援センター 03-3448-6280



総合相談室

病気に伴う療養生活や、家族、仕事、経済的な相談や福祉制度、施設利用などの相談をお受けしています。

～主な相談内容～

- ・ 退院後の心配や転院先の紹介
- ・ 医療費の心配や各種制度の利用
- ・ 精神的な心配
- ・ 在宅介護の心配
- ・ 地域サービスの紹介

がん相談支援センター

がんにおかかりになっても安心して治療や療養に専念できるよう、相談をお受けしています。

～主な相談内容～

- ・ がんの症状や治療などの情報を知りたい
- ・ 医師の説明がよくわからない
- ・ 症状があつてつらい
- ・ がんに関係する不安や悩みがある
- ・ 在宅療養でのサポートがほしい
- ・ 療養先についての相談
- ・ 経済的なことが心配

診断書・証明書について

1階中央カウンター文書窓口にて、申し込みから受け取りまでの手続きを行います。

受付時間

平日：8:30～17:00（土曜日、日曜日、祝日、年末年始を除く）
お問い合わせ先：03-3448-6644（文書窓口）

1 申し込みについて

- ・原則、退院日が確定してからの申し込みとなります。申し込みに必要なもの※を文書窓口にご提出ください。
- ・必要に応じて、ご入院中に書類作成を希望される際は、病棟事務職員までご相談ください。

2 受け取りについて

- ・作成には、3週間程度のお時間をいただいております。
- ・出来上がりのご連絡はしておりませんので、事前に出来上がりの確認をお取りください。
- ・受け取りに必要なもの※を文書窓口にご提出ください。

3 お支払いについて

- ・受け取りの際に、お支払いいただきます。

4 注意事項について

- ・診療科ごとに申し込みが必要となります。
- ・入院中に転科された場合も、それぞれの診療科で作成となります。
- ・文書完成後のキャンセルおよび返金は、お受けできませんのでご了承ください。
- ・文書作成後の訂正・追記はできない場合もございますので、ご了承ください。

※詳細な情報は、当院ホームページをご確認ください。

主な文書料金一覧

主な文書名	金額（税込）
通院証明書、援助金、特定疾患医療費等証明書、見舞金等の関係文書、死亡診断書（2通目以降）、医師の署名が不要な証明書	3,300 円
自立支援、受診状況等証明書、診療報酬点数確認書・証明書等の関係文書、申請書兼口座振替依頼書・証明書	5,500 円
臨床調査個人票、精神障害者手帳診断等の関係文書、死亡診断書（初回発行）、診断書（院内書式）	6,600 円
保険会社診断書、自賠責診断書・明細書・後遺障害、身体障害者診断書・意見書等の関係文書	8,800 円
障害年金、肝炎に係る診断書、小児科特殊書式診断書等の関係文書、その他 医師の署名が必要な文書	11,000 円
英文診断書（院内書式）	13,200 円
英文診断書（院外書式）	16,500 円

災害・緊急時の対応について

非常口（階段）は各廊下の突き当たりにありますので、入院後、必ずご確認ください。
非常時はエレベーターの使用ができませんので、病院職員の指示に従ってください。

⚠ 火事の場合

万一火事を発見したら、「火事だ」と大声を出してください。

その後は、病院職員の指示に従って避難してください。

⚠ 地震の場合

ご自身の安全を守ってください。

その後は、病院職員の指示に従って避難してください。

⚠ 停電の場合

落ち着いて、病院職員の指示に従ってください。

⚠ 医療機器等の場合

何らかの異常を感じましたら、病院職員にお知らせください。

⚠ 保安の場合

身の安全に心配なことがありましたら、お近くの病院職員へお知らせください。

以下のマークの近くへは、診療以外で立ち寄らないようお願いいたします。

名称	イメージ	名称	イメージ
放射性物質	 	放射性物質、危険箇所 立入禁止	
危険物質		危険箇所	
危険箇所（強力磁場）		危険物質（可燃物質）	
危険物質（有毒物質）			

※ そのほか何か異常を感じた場合は、お近くの病院職員に直ちにお知らせください。

感染対策について

当院では、感染防止の対策として手指衛生の励行、感染症の流行や患者さんの病状に合わせた取り組みを行っております。

1 手指衛生について

最も大切な感染予防策は手指衛生（手を清潔に保つこと）です。

当院では、すべての病院職員に対して患者さんに触れる前後に、手指衛生を行うことを義務付けております。

患者さんやご家族、ご面会の方々も、以下の方法で手指衛生へのご協力をお願いいたします。

(1) 手指衛生の方法

院内に設置されている擦り込み式手指消毒剤による消毒、または流水と石鹸による手洗い



(2) 手指衛生を行うタイミング

- ・病室に入る前、病室を出た後
- ・くしゃみや咳で、口を手で押さえた後
- ・食事の前
- ・トイレの後

※職員は、病室に入る前や患者さんに触れる前に、患者さんを微生物から守るための手指衛生を行うこととしています。職員の手指衛生が不十分と思われる場合は、遠慮なくご指摘ください。

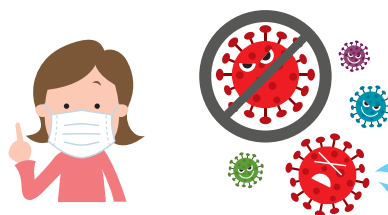
2 感染症に応じた予防策について

患者さんの病状に合わせ、感染対策として病室の移動や医療者の個人防護具（エプロンや手袋など）の着用等を行います。

3 感染症流行期の感染対策について

患者さんやご面会の方は常時マスク着用をお願いします。面会につきましては、流行状況に応じて面会禁止・制限を実施しています。詳しくは院内の掲示物や病院ホームページをご覧ください。

また、病棟間での不必要な移動は控えください。



4 職業感染に関するご協力について

患者さんに使用した医療器具による病院職員の針刺し等が発生した場合、職業感染予防のため患者さんへ採血をお願いする事がございます。医療者よりお声掛けいたします。

ご理解とご協力をお願いいたします。

医療安全について

1 患者確認について

当院では、医療安全の一環として次のような対策を行っております。私たちが安全な医療を提供するには、医療従事者だけではなく、患者さんやご家族の皆様にもご協力いただくことが必要であると考えております。

皆様のご協力をお願いいたします。

(1) 患者さんの確認

入院中あらゆる場面において、患者さんの氏名と生年月日で、本人確認をさせていただきます。

ネームバンド、点滴や採血容器など氏名が表記されているものは、患者さんと一緒に氏名確認させていただきます。

次のように確認させていただきます。

- ①「お名前と生年月日をおっしゃってください」
- ②「ネームバンドのお名前を確認させてください」→バーコード照合
確認できた後、診療行為を行います。

(2) 患者さん誤認防止の「ネームバンド」の装着

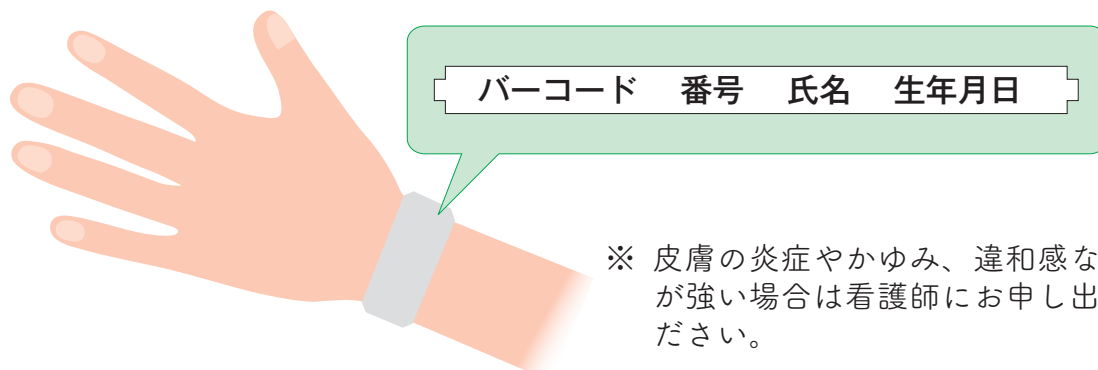
入院患者さん全員に、バーコード・診察券番号・氏名・生年月日が記載されたネームバンドを、手首等に装着していただきます。

患者さんの氏名・ネームバンド・点滴ラベル等を照合して、誤認防止に努めております。

就寝時にも点滴交換などの際には、ネームバンドのバーコードを読み取るため、装着されている側に触れさせていただく場合がございます。ご理解とご協力をお願いいたします。

「ネームバンド」は

- ① 入院から退院されるまで外さずに装着してください。
- ② 装着する際は、氏名・生年月日をご自身またはご家族の方に、確認していただきます。



※ 皮膚の炎症やかゆみ、違和感などが強い場合は看護師にお申し出ください。

2 転倒・転落防止について

入院中は生活環境や体調の変化、治療や薬の影響によって、ご自身で思っている以上に転びやすくなります。転倒・転落により、頭蓋内出血（頭の中の出血）や、骨折をすることがあります。

当院では転倒・転落による患者さんの負傷のリスクを低減することを目標としております。そのため、転倒・転落リスクの評価を行い、入院生活環境を整備しながら転倒・転落の防止策を検討いたします。ご自宅や外出時に「つまずいた、尻もちをついた」などありましたら、詳しく看護師にお伝えください。評価の結果によっては、転倒・転落予防策にご協力をお願いすることがございます。また、転倒・転落防止装置を使用させていただくこともございますので、ご理解をお願いいたします。

皆様が安全な入院生活が送れますように、実際に転倒・転落をしやすい場面と、その予防方法について説明させていただきます。

転倒・転落が起こりやすい場面と予防方法

立ちあがる時

急に立ちあがると、ふらつき危険です。

1 2 3 4 5



腰かけた状態でゆっくり5つ数えてからゆっくり立ち上がりましょう。いつもより時間に余裕をもって、あせらずにゆっくり行動しましょう。

ベッドより身を乗り出す

床に落ちたものを拾う時、冷蔵庫の中の物を取り出す時、バランスを崩してベッドより転落します。



無理にご自身で行わず、ナースコールで看護師をお呼びください。

寝巻やパジャマの裾に引っ掛かる

寝巻やパジャマの裾に引っ掛かることがあります。



裾を引きずらないように、足首より上の長さに調整してください。

履物

かかとの無い履物は脱げやすく危険です。



履き慣れた、滑らず、かかとの覆われている靴（運動靴・リハビリシューズ）をお持ちください。かかとは潰さずにきちんと履きましょう。

トイレ

トイレのあと、気分が悪くなる場合があります。



一息ついてから、ゆっくり立ち上がりましょう。気分が悪い時は、ナースコールを押して看護師をお呼びください。

睡眠薬を飲んだあと

睡眠薬の影響により、ふらつき危険です。



トイレなどに行く際は、遠慮せずナースコールで看護師をお呼びください。

段差やチューブ類に引っ掛かる

点滴スタンドは、わずかな段差に引っ掛かることがあります。また、チューブ類に引っ掛かることがあります。



しっかりと点滴スタンドを持ち、ゆっくり歩きましょう。チューブ類は床につかないようにまとめ、注意して歩きましょう。

車輪のついているものを支えにする

点滴スタンドやベッドサイドテーブルなど車輪がついているものを支えにすると動いて危険です。



ベッド柵・手すりにつかまるようにしましょう。

シャワー室・浴室

シャワー室・浴室はたいへん滑りやすく危険です。



ご利用される際は、看護師にお声かけください。

濡れた床で滑る

トイレや洗面化粧台の周囲の床はとくに濡れやすく注意が必要です。



床が水などで濡れている場合は、看護師にお声掛けください。

転倒・転落防止にご協力をお願いいたします。

ベッドの使用 方法

ベッドからの転落予防のため、

頭元の柵を立てた状態（下図）

でご使用ください。

必要時、看護師の指示に従ってください。



ご使用中の注意

サイドレール・ベッド用グリップのすき間、
手元スイッチ（電動リモコン）の事故

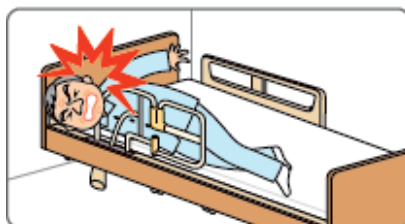


サイドレールなどの中に頭や手足が入り込み、
挟まった。



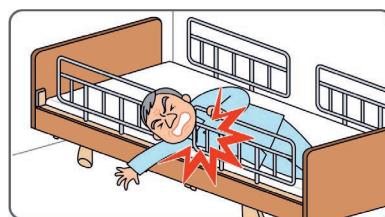
- 手や足を入れたままベッドの背を上げた
- 手や足を入れたまま「起き上がった」「寝返りした」
- ベッドから転落したはずみで手や足が入った

サイドレールなどとボードのすき間に首が入り込み、挟まった。



- ベッドの外のものを取ろうとして身を乗り出した

サイドレールとサイドレール（ベッド用グリップ）とのすき間に首が入り込み、挟まった。



- 背を上げた状態で体位を保持できず、身体が横に倒れた
- サイドレールを逆向きに取付け、すき間が広がっていた

手元スイッチ（電動リモコン）を誤って操作した。



- 手元スイッチ（電動リモコン）が体や隙間に挟まれて誤ってベッドが動いた

褥瘡（床ずれ）予防対策について

1 褥瘡について

一日のほとんどをベッド上や車いすで過ごす方にしやすい、圧迫とずれが原因でできる傷です。床ずれとも呼ばれています。

褥瘡は一度できてしまうと、治すためにはさまざまなケアが必要となります。また、悪くなると筋肉や骨におよぶこともあるので、予防と悪化させないことがとても重要となります。

2 褥瘡がしやすい方について

自分で寝返りができない、自分で座り直しができない、栄養の状態が悪い、浮腫（むくみ）がある、便や尿で皮膚がいつも湿っている、皮膚が乾燥している等、このような方の骨の出ているところに褥瘡はできやすくなります。

3 褥瘡対策について

当院では、様々な褥瘡対策を行っております。

- ・入院時や入院後も、看護師が定期的に褥瘡の有無を確認させていただきます。
- ・自分で体の向きを変えられない方に対しては、定期的に体の向きを変えたり、マットレスの種類を変更させていただく場合があります。
- ・便や尿で皮膚がいつも湿っている方や、皮膚が乾燥している方には、保湿クリームや保護クリームの購入をお勧めしております。
- ・褥瘡のある方に対しては、医師と看護師の他に、院内の褥瘡対策チームで治療を行います。

疼痛（痛み）について

1 痛みによる患者さんへの影響

痛みは、手術やけが、炎症や内臓の腫れ、神経の損傷、心理・社会的な問題など、さまざまな要因で起こり、単にその症状だけでなく、普段できていたことができなくなったり、夜間眠れなくなったりと、気持ちや生活の面にも影響をもたらします。また、例えば、胸や背中の痛みが心筋梗塞の前兆の場合があるなど、身体にとっての危険信号として痛みが起こることもあります。そのため、痛みについて医療者に伝えること、早期に対応することはとても大切です。

2 毎日痛みを確認することについて

痛みの感じ方や表現は人それぞれであり、どのような痛みなのか、どのくらい痛いのかは体験している人にしかわかりません。そのため当院では、熱や血圧を測るのと同じように痛みについても毎日患者さんに確認させていただいています。具体的には、すべての患者さんに対して、看護師が毎日熱や血圧を測るときなどに痛みがあるかどうかもお聞きし、痛みがある場合には、より詳しい情報として、痛みの強さ、部位、性質、1日のパターン、動きとの関連をお尋ねします。さらに、痛みの増強や緩和に影響する要因、痛みの気持ちや生活面への影響、疼痛治療・ケアへの患者さんの満足度などについても定期的に確認し、痛みの予防や早期発見、適切な疼痛緩和治療やケアの実施に努めています。

3 痛みへの対応法

痛みの原因によっていろいろな対応を行いますが、最も多いのが鎮痛薬による疼痛の緩和です。鎮痛薬にはいろいろな種類があり、痛みの原因や状態によって、使い分けたり何種類かを併用したりします。痛みが強いときには、適正な基準に従って安全な方法で医療用の麻薬性鎮痛薬を使うこともあります。鎮痛薬を使用するときには、医師、薬剤師、看護師等から使用方法等について具体的な説明があります。

鎮痛薬以外では、神経ブロック、手術、リハビリテーション、心理療法、マッサージや温めたり冷やしたりするケアなどにより、痛みに対応します。



深部静脈血栓症・肺血栓塞栓症を防ぐために

1 深部静脈血栓症・肺血栓塞栓症とは

長時間、下肢を動かさずに安静にしていると、下肢の静脈の流れが悪くなり、血管の中で血液のかたまり（血栓）ができることがあります。これを深部静脈血栓症といいます。深部静脈血栓症では、下肢の痛みを伴うこともありますが、その多くは無症状であり、症状からの発見は困難です。

また、下肢の静脈にできた血栓が血管の中を流れ、心臓の血管を通過して肺の動脈に詰まることがあります。

これを肺血栓塞栓症といいます。

2 血栓ができる要因

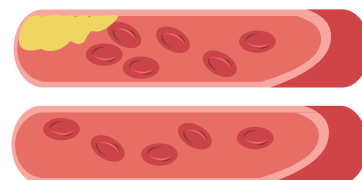
長時間の安静や不自由な姿勢を続けた場合に生じます。病院内での発生は、手術などの長時間の安静や、病気のために体が不自由な状態で、動けないために生じることがほとんどです。安静以外に、脱水症状、一部の薬剤を使用している方、生まれつき血栓ができやすい方、膠原病や悪性腫瘍の患者さんの一部でも発生しやすいと考えられます。

3 症状

肺血栓塞栓症によって起こる症状は、詰まった血栓の大きさによって異なります。小さな血栓が詰まった場合には、自然に溶けてしまうため問題ありませんが、大きな血栓が太い肺動脈に詰まった場合には、呼吸困難、胸痛、動悸から血圧低下（ショック状態）、意識消失などに陥り、死亡することもあります。

4 予防法

これらはすべての診療科の入院患者さんに、発症する可能性があります。静脈にできた血栓が大きくなって、重症の肺血栓塞栓症が起こってしまうと、生命を脅かすことになりますので、予防を行うことは非常に重要です。予防法には理学的予防法（足関節運動、弾性ストッキング、間欠的空気圧迫法）と薬物予防法（抗凝固薬）があります。当院では、それぞれの患者さんの状態に応じて、これらの中から必要と思われる予防法を選択し行っています。



個人情報保護方針

N T T 東日本 関東病院（以下「当院」）は、N T T 東日本の社会貢献の象徴として、医療の提供を通して病院を利用される全ての人々、そして病院で働く全ての人々の幸せに尽くすとの考えのもと、個人情報保護の重要性を深く認識し、以下の方針に従い、全ての病院スタッフが個人情報の適切な取り扱いを行うよう努めます。

1 個人情報の収集について

当院が、患者の個人情報を収集する場合、診療・看護及び患者の医療に関わる範囲で行うとともに、個人情報を正確かつ最新の内容に保つよう努めます。この個人情報には、診療録に記載が求められる情報のほか、診療に伴う検査結果記録、画像・映像記録、及び採取標本からの情報を含みます。その他の目的に個人情報を収集する場合は、利用目的をあらかじめお知らせし、ご了解を得たうえで実施します。

2 個人情報の利用および提供

当院は、患者の個人情報の利用については、以下の場合を除き、本来の利用目的を超えて使用しません。

- （１）患者の了解を得た場合
- （２）個人を識別あるいは特定できない状態に加工して利用する場合
- （３）法令等により提供を要求された場合

当院は、法令の定める場合等を除き、患者に許可なくその情報を第三者に提供しません。

3 個人情報の適正管理について

当院は、情報セキュリティの管理体制を整備し、患者の個人情報への不正なアクセス、情報の紛失・改ざん・漏洩の防止等に向けた厳格なセキュリティ対策の実施、社員教育の徹底、委託先への適切な監督等、情報の保護に向けた必要な取り組みを継続的に実施していきます。

4 個人情報の確認・修正等について

当院は、患者の個人情報について患者に開示を求められた場合には、遅滞なく内容を確認し、当院の規定に従って対応します。また、内容が事実でない等の理由で訂正を求められた場合も、調査し適切に対応します。

5 問い合わせの窓口

当院の個人情報保護方針に関してのご質問や患者の個人情報のお問い合わせは下記の窓口でお受けします。

患者相談窓口 電話番号 03-3448-6651
メール koj-in-ml@east.ntt.co.jp

6 法令の遵守と個人情報保護の仕組みの改善

当院は、個人情報の保護に関連する法令等の規定に従って個人情報の適正な取り扱いを行っていくなど、コンプライアンス（法令遵守）の徹底に務めるとともに、上記の各項目の見直しを適宜行い個人情報保護の仕組みの継続的な改善を図ります。

2018年4月1日
N T T 東日本 関東病院
院長

当院では患者さんの個人情報の保護に万全の体制をとっています。

当院では、患者さんの個人情報については下記の目的に利用し、
その取り扱いには万全の体制で取り組んでいます。
なお、疑問などがございましたら患者相談窓口にお問い合わせください。

N T T 東日本 関東病院
院 長

当院での患者の個人情報の利用目的

I. 院内での利用

1. 患者に提供する医療サービス
2. 医療保険事務
3. 入退院等の病棟管理
4. 会計・経理
5. 医療事故等の報告
6. 患者への医療サービスの向上
7. 院内医療実習への協力
8. 医療の質の向上を目的とした院内症例研究
9. その他、患者に係る管理運営業務

II. 院外への情報提供としての利用

1. 他の病院、診療所、助産院、薬局、訪問看護ステーション、介護サービス事業者等との連携
2. 他の医療機関等からの照会への回答
3. 患者の診療等のため、外部の医師等の意見・助言を求める場合
4. 検体検査等の業務委託
5. 患者の家族等への病状説明
6. 保険事務の委託
7. 審査支払機関へのレセプト（診療報酬明細書等）の提供
8. 審査支払機関又は保険者への照会
9. 審査支払機関または保険者からの照会への回答
10. 事業者等から委託を受けた健康診断に係る、事業者等へのその結果通知
11. 医師賠償責任保険等に係る、医療に関する専門の団体や保険会社等への相談または届出等
12. がん診療連携拠点病院の業務としての院内がん登録、及び東京都地域がん登録事業にかかわる登録、届出、更新等
13. 医薬品等の安全対策に資するため、厚生労働省及び独立行政法人医薬品医療機器総合機構が実施する医療情報データベース基盤整備事業に、医療情報を匿名化して提供すること
14. 生命・身体保護、公衆衛生の向上、児童の健全育成に資するため、消費者庁及び独立行政法人国民生活センターの実施する医療機関ネットワーク事業に、事故情報を匿名化して提供すること
15. その他、患者への医療保険事務に関する利用

III. その他の利用

1. 医療・介護サービスや業務の維持・改善のための基礎資料
2. 外部監査機関への情報提供

※1. 上記のうち、他の医療機関等への情報提供について同意しがたい事項がある場合には、その旨を担当窓口までお申し出ください。

※2. お申し出がないものについては、同意していただけたものとして取り扱わせていただきます。

※3. これらのお申し出は、後からいつでも撤回、変更等を行うことができます。

施設案内

■ 病院棟

※営業時間に変更になる場合がございます。

2F	コンビニエンスストア	平日 7:30 ~ 20:00 土曜日、日曜日、祝日 9:00 ~ 17:00 食料品・雑貨・文具・介護用品・新聞・雑誌・書籍・テレビカード・イヤホン・コピー・FAX・宅配便・郵便ポスト・公共料金等の収納代行・ATM
	池田山ガーデンカフェ	平日 レストラン 8:30 ~ 15:00 ラストオーダー 14:30
B1F 1F・2F 各病棟	自動販売機	24 時間対応 ※院内各所にごございます
各病棟	テレビカード販売機	24 時間対応 ※ 1,000 円札のみご利用可能です ※ 11F を除く各病棟にごございます ※カード精算機は 1F 警備員室前と総合案内横にごございます
B3F B4F	駐車場	24 時間対応 ※ 15 分毎 100 円です（最大料金なし） ※ 150 台駐車可能です ※割引等のサービスはございません

■ 健康管理棟

2F	理容室	平日 9:00 ~ 17:00 土曜日 9:00 ~ 15:00（予約制） ※入院中の患者さんは医師の承諾書が必要です ※日曜日・祝日は休業
----	-----	---

■ 屋外

2F	なごみ（中庭）	連絡通路の出入りは 8:30 ~ 17:00（平日のみ）となります。 各病棟にて通行に必要なセキュリティカードの貸し出しを行っております。
----	---------	--

アクセス



- JR および池上線：五反田駅から徒歩約7分
- 都営地下鉄浅草線：五反田駅から徒歩約5分
- シャトルバス：五反田駅からご利用いただけます



ウェブサイト

NTT 東日本 関東病院

検索



携帯サイトは
こちらから閲覧
いただけます。



URL : <https://www.nmct.ntt-east.co.jp/>

直通TEL

- ・入退院受付 : 03-3448-6187 (平日 8:30 ~ 17:00)
- ・救急センター : 03-3448-6000 (24 時間体制)



NTT 東日本 関東病院

〒141-8625 東京都品川区東五反田 5-9-22 TEL 03-3448-6111 (代表)

●休診日：土曜日・日曜日・祝日・振替休日・年末年始